室戸ジオパーク 新しい大地が誕生する最前線

Muroto Geopark -a frontier of the birth of a new habitable land-

小松 幹侍 [1]

Kenji Komatsu[1]

[1] 室戸ジオパーク推進協議会

室戸市役所

[1] The Council of Promoting the Muroto Geopark

Muroto Municipal Office

http://www.city.muroto.kochi.jp

室戸ジオパーク 新しい大地が誕生する最前線

1位置と範囲

高知県の室戸半島に位置し、室戸市全域 (248.25km²) を室戸ジオパークの範囲とする。

2 地形と地質の概要

四万十帯南帯に位置し、プレートテクトニクス理論を実証する付加体により形成されている。室戸半島の西海岸には 三段の海成段丘地形が見られる。これと対照的に東海岸の地形は断層により急崖地形をなしている。

3 コンセプト

室戸半島は海洋プレートの沈み込みと、室戸沖にある南海トラフに沿って起こる巨大地震によって新しい大地が誕生する最前線。室戸半島の岩石や地層に記録された地球のダイナミックな営みを理解することができる。

4ジオパーク資源

(1)地質

付加体

プレートテクトニクス理論を実証した。

海成段丘

数十万年前の氷期・間氷期に形成された。

地震の痕跡

約一万年前~現在の大地震に伴う隆起の痕跡がある。

(2)自然

植物

室戸岬にはアコウなど亜熱帯的要素の植物が生育する。また海岸近くの岩地にはシオギクが群生し、砂地にはグンバイヒルガオも見られる。

(室戸岬亜熱帯性樹林及び海岸植物群落:国天然記念物)

鯨

・ニタリクジラ

比較的浅い土佐湾に生息する。

・ミンククジラ

室戸半島東海岸の急崖に生息する。

(3)歷史文化

空海伝説、四国八十八ヶ所

室戸には空海が修行をした御厨人窟など、ゆかりの場所が点在し、最御崎寺、津照寺、金剛頂寺の三つの寺が四国八十八ヶ所の巡礼地となっている。

吉良川の町並み

日本の懐かしい町並みを今に残している。(国・重要伝統的建造物群保存地区)

室戸岬灯台

明治32年以来、航海者たちの安全を照らす水先案内人として現在も活躍。レンズの大きさは直径2m60cmと日本最大級。「近代化産業遺産」に選定。

(4)産業

海洋深層水

東海岸では海底地形が急峻なため、比較的短い距離で海洋深層水を取水することができ、様々な関連商品が生産されている。

関連商品: 化粧品、ミネラルウォーター、塩、醤油、アイスクリームなど

健康増進施設

・ディープシーワールド

海洋深層水を活用した「バーデハウス室戸」「深層水公園」「ウトコディープシーテラピーセンター&ホテル」により構成され、海洋深層水によるタラソテラピー(海洋療法)が体験できる。

・室戸ドルフィンセンター

この施設ではイルカとの触れ合いプログラムを行うとともに、発達障害児等へのイルカ介在活動プログラムの提供などにも取り組んでいる。

(5)教育研究

高知コアセンター

この施設には、最先端の分析機器群や海洋掘削コア試料を保管する大型冷蔵・冷凍庫があり、コア試料を用いた基礎 解析から応用研究を一貫して行うことが可能。

国立室戸青少年自然の家

たくましく、心豊かな人間育成を目指して、恵まれた自然環境の中で野外活動や自然研究が行える宿泊施設。 高知県海洋深層水研究所

日本初、世界で三番目の深層水有効利用実験施設。水深320mから低温で清浄しかも栄養に富む深層水を利用し魚介類の飼育試験を行う。

アクアファーム

ここでは海洋深層水の取水と、パネルの展示やビデオ等により海洋深層水を紹介している。

鯨館

古式捕鯨に関する資料や鯨の骨格標本などを展示。

室戸では、こういったジオパークを構成する資源がお互いに密接に結びつき、それらを学習する場もあり、ジオパークとして充分な資質を備えた地域であるのでGGNに加盟申請したい。